

# 四条通歩道拡幅工事

## 門川市長に緊急提言

### 「議会でも最も早く提言をまとめる」

自民党議員団では、四条通の整備に伴い発生した激しい交通渋滞をしっかりと受け止め、これ以上の混乱を生させないよう、プロジェクトチーム「誰もが安心快適に歩ける四条通の整備と渋滞に関する検討会」を速やかに設置し、問題点や対策をしっかりと調査・審議・検討した上で、5月28日、門川市長に対しその改善案等を提言しました。

今回の四条通の整備は、中心市街地の道路の車道と歩道の配分を見直すことで、誰もが安心して快適に歩ける歩行空間を創出することにより中心市街地を活性化し、更に賑いあるまちづくりを目指しています。

ただ、3月から4月上旬には、その工事に伴い発生した激しい交通渋滞により、多くの市民・事業者の皆様が多大なご迷惑をおかけしました。今後、再びこのような事態を生じさせないためにも、渋滞の状況と要因、市の取組を検証したうえで、問題点や反省点を明確にし、今後の対策を講じる必要があります。

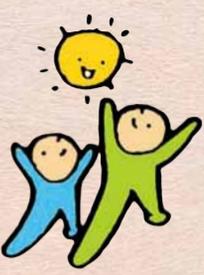
確かにこの間の委員会等において行政側は、市バスの停車時間を30秒と想定しており渋滞しないと説明していましたが、実際には90秒かかるケースも少なくなく、事前の想定を大幅に超える「想定外の事態」が大渋滞を引き起こした大きな要因であった訳です。

こうした点を踏まえ、我々は、  
1. 今回渋滞を引き起こした最大の原因であった多くの停車時間を長引かせないこと。また、観光シーズン等においては、早くから対策を講じること  
2. 四条通への通過車両の流入を抑制できる仕組みを構築すること  
3. 上記の対策や状況の推移、事業の目的や効果について、幅広く市民に発信し、説明すること

により、更なる市民のご理解とご協力を求めること  
を強く要望しました。  
(なお、提言の詳細は別表のとおりです。)

この提言を基に、バスやタクシーなどの公共交通をはじめ、必要とされる交通手段が円滑に通行できるよう取り組むとともに、市民の皆様が安心快適に歩ける四条通となることを願い、今後の京都市の積極的な取組を注視してまいります。

# 自由民主党 京都市会 議員団ニュース



平成27年(2015)6月21日発行

■発行人/井上与一郎  
■編集委員/棕田隆知、しまもと京司  
〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091  
http://jimin-kyoto.jp/

No.49

我々は市長に対し代表質問でその問題点を問いただしたところ、次の3点が反省点であると答弁されました。

- ◎予想を超える他都市の車の流入があった
- ◎バスの乗降時間が観光シーズンで予想より長くなった
- ◎工事中に左折レーンが使用できなかった

3. 上記の対策や状況の推移、事業の目的や効果について、幅広く市民に発信し、説明すること



市民主体の賑わいを目指す四条通

## 総額11億8600万円の 補正予算を徹底審議・可決

民間保育所整備助成	3億9240万円
小規模保育整備助成	1660万円
小学校統合整備	5600万円
市営住宅改善事業	1億2100万円
山ノ内浄水場跡地整備	6億円

この補正により、更なる子育て支援・教育の充実とともに、市営住宅の改善や浄水場跡地の整備・活用も推進されます。我々はそれぞれの問題点も精査した上で、事業執行時には地域の経済的観点や諸問題についても、より配慮して取り組んでいくよう、議会の意思(付帯決議)を示し、可決しました。

# 国策で文化首都・京都創生

## 地方創生全国モデルへ 文化庁の京都移転に府市協調

井上与一郎議員 (右京区)

井上与一郎議員 (質問) 京都に文化庁を移転すること

は、京都だけではなく日本全体の発展に資するものと考えますが、今般の国の地方創生の動きを踏まえ、市長はどのように対応されるのか。お考えをお伺いします。

門川大作市長 (答弁)

京都移転が望まれる現在の文化庁が入る建物 (文部科学省のホームページより)

政府関係機関の移転は国が地方創生で掲げる東京一極集中の是正に向けた大きな一歩となるものであり、また、有形・無形の文化遺産が数多くあり、伝統芸能・伝統文化から現代芸術まで多様な文化が息づいている京都にも文化庁を移転することは地方創生における全国モデルとなる取組であると確信しています。このため、単に要望するだけでなく、実現に向けた具体的な提案を練り上げるため、既に庁内検討チームを設置し、移転先の候補地など種々の検討を始めたところです。

今後は庁内だけでなく京都府や経済界とともに、オール京都の推進体制を6月中にも構築する

ことを目指し、現実に向けて力強く取り組んでまいります。

### 双京構想に 予算計上

井上与一郎議員 (質問) 京都市の将来を考える中で、双

京構想は非常に重要でありま

# 大都市制度あり方と課題

## 将来を見据えた判断を 二重行政の無駄の更なる解消

吉井あきら議員 (山科区)

吉井あきら議員 (質問) 先日、地方自治のあり方に一石を投じる出来事がありました。5月17日に行われた、いわゆる大阪都構想に関する住民投票であります。

大阪都構想が政令指定都市に投げかけた、「二重行政の解消」「大都市戦略」「住民の声をくみ取る自治の仕組み」の3点については、大阪に限らず、全国の大都市が、そして京都市においても、市政運営に当たって大切にしなければならぬ視点であることに変わりはなく、今後とも不断

### 井上与一郎議員の質問項目

- ・地方創生に対する本市の目指す方向性及び本市独自の「こころの創生」への思い
- ・地方創生の進め方
- ・政府関係機関の地方移転
- ・双京構想

今年度は具体的な調査のための予算が計上されていますが、双京構想の実現に向けての市長の決意をお伺いします。

門川大作市長 (答弁) 私は皇室の弥栄のため、東京以外に唯一現役の御所がある京都にも皇室の方にお住まいいただき、東京と京都が都として

の機能を双方で果たす双京構想の実現を目指すことは、京都が果たすべき大きな使命の一つであり、日本全体にとっても大変有意義であると認識しています。そして、これまでの取組も深化させ、双京構想の実現に向けた機運を更に高めていくため、昨年8月には「京都の未来を考える懇話会」において、有識者の意見

も踏まえながら、双京構想実現に向けた具体的な取組方針をとりまとめたところであります。

の努力を重ねていくべきです。



府市協調で設置・運営されている京都動物愛護センターと芝生の鮮やかなドッグラン

そこで、今回の一連の大阪の動きも踏まえ、市長が目指しておられる大都市制度のあり方及び現行制度における課題、また、現在も進められている二重行政解消の更なる取組への決意についてお答え願います。

門川大作市長 (答弁) 施設やフト面の施策も含めて、聖域を設けずに大胆かつ徹底した議論を加速させ、市民・府民の皆様から「全国トップレベルの府市協調が更に進化した」と評価いただけるよう、更なる改革の成果を追求してまいります。

### 吉井あきら議員の質問項目

- ・二重行政の無駄の更なる解消に向けた取組
- ・四条通歩道拡幅事業
- ・京都市交通安全基本条例制定後のこれまでの取組と今後
- ・新たな教育委員会制度の下での、本市教育の今後の展望
- ・安心安全な水の供給のための今後の取組

## 誰もが利用しやすい 四条通の実現へ！

吉井あきら議員 (質問) 四条通歩道拡幅事業について、お尋ねします。

工事着工後、整備が進むにつれ、従来と比べて四条通での渋滞がひどくなったとの声が数多く寄せられています。

渋滞対策の取組を強力に進め、本来の整備目的である「まちの賑わい・活力の創出」という目的が達成できるように全市を挙げて取り組むべ

きであり、拡幅して良かったと全国から評価されるような事業になつてほしいと考えますが、市長のお考えをお聞かせください。

門川大作市長 (答弁) 多くの市民の皆様にご迷惑とご心配をお掛けしました。心よりお詫び申し上げます。

この間の渋滞発生の主な反省点としては、次の3つです。

- ①他府県への啓発が不十分であった結果、他府県車両の流入が多かったこと、
- ②外国人旅行者の増加等、バス利用者の増加で乗降に時間を要したこと、
- ③工事期間中における左折レーンの減少による影響等でありました。

祇園祭、秋の観光シーズンに向けて、京都府警察とも連携し、検討・協議するとともに、「歩くまち・京都」にふさわしい四条通を実現できるよう、全力で取り組んで参ります。

# 代表質問

## 5月開会市会 (5/18~28)

第82代京都市会議長

### 津田 大三

平成27年5月市会において  
伝統と格式のある京都市会の  
第82代議長に就任させていた  
だくこととなりました。45歳と  
まだまだ若輩者であります私  
にとりましては、身に余る光栄  
と存じますとともに、またその  
責任の重大さに身の引き縮ま  
る思いです。  
さて、今地方は大変重要な時

# がむしゃらにはたらきし 汗ぬぐうかな

期を迎えています。本年は、「地  
方創生元年」とも言われていま  
す。今まさに、地方の力量が問  
われています。それは、地方自  
治体の力量であり、同時に二元  
代表制の一翼である議会の力  
量が問われているのだと思っ  
ます。パフォーマンスや出鱈目  
では、今の時代に應えることは  
できません。  
私の政治信条は「信無くば立  
たず」です。これは、人は政治  
を信頼することが出来なければ  
期を迎えています。本年は、「地  
方創生元年」とも言われていま  
す。今まさに、地方の力量が問  
われています。それは、地方自  
治体の力量であり、同時に二元  
代表制の一翼である議会の力  
量が問われているのだと思っ  
ます。パフォーマンスや出鱈目  
では、今の時代に應えることは  
できません。  
私の政治信条は「信無くば立  
たず」です。これは、人は政治  
を信頼することが出来なければ

# 農業・農村の活性化促進 強い農林水産業 6次産業化の更なる推進

田中明秀議員 (西京区)

田中明秀議員 (質問) 6次

産業化や農家民宿など新たな  
価値の創出により、農業・農  
村の活性化を促進することが  
大切であると考えますが、い  
かがですか。

村上圭子産業観光局長 (答

弁) 付加価値の高い特産品の  
加工施設やハウス等の整備を  
支援し、農家所得の向上を図  
ることにより、意欲ある若い  
農業者や担い手組織を育成す  
るとともに、大学や市内加工

業者、観光事業者、ソーシャ  
ルビジネスの担い手の皆様な  
どと連携して、京野菜のブラ  
ンド化と6次産業化を融合し  
た取組を一層強化してまいり  
ます。

このほど左京区久多で開業  
した「農家民宿」の全所的な  
普及にも取り組み、京都なら  
ではの農業・農村地域振興に  
全力で努めてまいります。

## 市内周辺部の 賑わいづくり

田中明秀議員 (質問) 市内  
周辺部の賑わいをどのように

## 田中明秀議員の質問項目

- ・地球温暖化対策とエネルギー自立化に向けた取組
- ・ふるさと納税の拡充
- ・市内周辺部の観光振興・賑わいづくり
- ・強い農林水産業、6次産業化の推進
- ・地下鉄の経営健全化の推進と駅ナカビジネスの展望

つくっていくのか。観光ルー  
トとしてもPRしていくべき  
と考えますが、いかがですか。  
塚本稔副市長 (答弁) 日本  
酒や京野菜をはじめとする  
「食の観光」、温泉のPRや、  
早朝座禅や朝市など「朝の観  
光」の推進、水辺や竹林など



規制緩和による京都市第1号の農家民宿

豊かな自然を生かしたウォー  
キングやサイクリングなど、  
地域の観光振興につながる取  
組をより一層進め、地域経済  
の活性化や魅力あるまちづく  
りの実現に努めてまいります。

## 地下鉄増客・ 増収に向けて

田中明秀議員 (質問) 地下  
鉄1日5万人増客に向けて、  
また収益向上に向けてどのよ  
うに取り組まれますか。

門川大作市  
長 (答弁) 子  
育て環境の向  
上、中小企業  
の活性化を含  
めた安定した  
雇用の創出、  
観光振興、大  
学政策、空き  
家対策等、人  
口減少社会に  
挑戦する政策  
を、地下鉄の  
増客と融合さ  
せ総合的に推  
進するとともに、  
岡崎地域

# 市政のリーダーシップ 自民党市会議員団

## 自民党議員団の所属委員会

市会改革 推進委員会	常任委員会					市会運営 委員会	特別委員会			
	経済総務	くらし環境	教育福祉	まちづくり	交通水道消防		予算	決算		
委員長	寺田かずひろ					吉井あきら	田中 明秀			
副委員長		小林 正明	富 きくお	繁 隆夫			①	② 椋田 隆知	③ しまもと京司	
自 民 党	橋村 芳和	小林 正明	富 きくお	寺田かずひろ	井上与一郎	山本 恵一	橋村 芳和	富 きくお	井上与一郎	小林 正明
	寺田かずひろ	中村三之助	橋村 芳和	西村 義直	繁 隆夫	吉井あきら	田中 明秀	橋村 芳和	繁 隆夫	津田 大三
	田中 明秀	田中 明秀	大西ケンジ	椋田 隆知	津田 大三	しまもと京司	吉井あきら	中村三之助	寺田かずひろ	山本 恵一
	吉井あきら	平山たかお	田中たかのり	森田 守	下村あきら	みちはた弘之	椋田 隆知	田中 明秀	西村 義直	吉井あきら
	椋田 隆知			加藤 昌洋			しまもと京司	下村あきら	椋田 隆知	しまもと京司
								大西ケンジ	田中たかのり	みちはた弘之
								平山たかお	加藤 昌洋	森田 守

政策委員長	下村あきら
監査委員	中村三之助
京都府後期高齢者医療広域連合議員	繁 隆夫
関西広域連合議員	富 きくお
人権擁護委員	椋田 隆知
都市計画審議会委員	小林 正明

\*市会運営委員会の橋村芳和、吉井あきは理事  
\*予算決算特別委員会の副委員長欄の○内数字は分科会

や東部クリーンセンターの跡  
地など、駅周辺の活性化を積  
極的に進めてまいります。  
また増収と駅の賑わい創出  
を目指す駅ナカビジネスにつ  
いては、現在、コトチカ御池  
の拡充に着手しており、新し  
く4店舗を加えて、来年1月  
に、グラントオープンいたし  
ます。  
今後とも引き続き、コトチ  
カ京都の更なる拡充やコトチ  
カ北大路などの積極的な展開  
を進め、平成30年度までに、  
目標とする年間収入10億円を  
達成してまいります。

これまで京都市が進めてきた「京都創生」と、さらにはその観点をより包括的に深化させるとともに、人口減少・超高齢社会というこれからの重大な課題に対して、地域の特性をしつかりと活かした自律的で持続的な社会

を目指す、まち・ひと・しごと・こころの《京都創生》が一体となって推進されています。これらについて重要と思われる点や決意など、多岐にわたる意見を自民党議員団21名に聞きました。

**小林 正明** (北区)



格調高い観光政策。単なる物見遊山ではない文化芸術芸術都市「京都」をからめさせる事。もう一点は「双京構想」。御所の存在する都市として皇室との関係強化。

**山本 恵一** (北区)



世界の宝である京都の特性と魅力を世界に発信していくため、国・府と三位一体の取り組みを連帯して行なっていくことが大変重要であります。

**中村三之助** (上京区)



東京一極集中からいよいよ地方分権社会の時代へ進んで行く中、地方・京都のやる気度、力量が問われて来ます。京都力の拡大に向けて頑張ります。

**寺田かずひろ** (上京区)



京都市民が市内産品や市内店舗で購入する「内需」を増加させることにより地域の絆が見直され、地域が元気になる街づくりが肝要だと考えます。

**大西ケンジ** (左京区)



日本に京都があつてよかつた。さあ皆様、まさに今この言葉のようにワクワクする京都を、一緒に考え、創っていきましょう。「地域、元氣！」

**津田 大三** (中京区)



京都創生とは、伝統や文化を守り魅力溢れる京都の街のあるべき姿を創っていくもの。町衆の心意気を大切にしながら、ともに考えて参ります。

**加藤 昌洋** (中京区)



京都創生には、次世代を担う子供たちを育てることが重要です。そのため、保育・教育環境の充実にしつかり取り組んでまいります。

**平山たかお** (東山区)



京都を訪れた若者が、「将来この街に住みたい」と思ってもらえるように、魅力あふれるわが街京都東山の創生に全力を尽くします。

**富 きくお** (山科区)



歴史力・文化力・ものづくり力・地域力など京都の強みを総結集し、経済活性化を図るとともにオール京都で心豊かに暮らせる社会を実現。

# 「地方創生・京都創生」の重要点

## 21人、市政への取組を語る

**吉井あきら** (山科区)



千二百年の歴史ある京都！歴史・伝統をしつかり受け継ぎ、魅力あるまちづくりに取り組み日本に世界に輝く山科・京都の創生に全力を尽くします！

**下村あきら** (下京区)



京都創生に向け、①京都駅西部エリアの活性化②同駅東部エリア(芸大の移転整備)③中央卸売市場の施設整備等これら施策の効果的な実現に努力します。

**椋田 隆知** (南区)



人口減少に対応するために、京都の強みを活かした、市民にとって「住みやすい」と誇りがもてる「住みたい」と思える魅力あるまちづくりを推進します。

**しまもと京司** (南区)



市が進めてきた景観・文化・観光政策等が、しつかりと経済効果や市民生活、住みやすさ、すなわち人口問題に結びついていくかどうかを徹底検証。

**井上与一郎** (右京区)



古い歴史や日常に溶け込んだ文化が本市にあり、これらを感じる観光と、他都市にはない御所があることで双京構想の推進に力を入れることが重要です。

**田中たかのり** (右京区)



「京都でできることは京都で！」そのために地域(まち)づくり・住民(ひと)づくりを通して次世代に継承できる京都のかたちをつくりまします。

**森田 守** (右京区)



京都の歴史、伝統、文化などの特色を活かして、他都市では真似のできない地方創生「京都創生」をしつかりと進めてまいります。

**田中 明秀** (西京区)



東京に対抗できるのは京都だけといっても過言ではない。双京構想の実現や観光振興等、他都市を牽引するような取組みをしつかり進めていく。

**西村 義直** (西京区)



京都創生が前進することで多くの分野が活性化することにつながり、京都の魅力が向上し、これまで以上に希望の持てる市民生活を担います。

**繁 隆夫** (伏見区)



市内各地に余り知られていない観光資源が山のようにあり、地域に入り込むことにより見えてくる京都の魅力というものを発信できると考えています。

**橋村 芳和** (伏見区)



京都の地方創生は伏見区から！らくなん進都の推進、伏見稲荷に続く醍醐寺等の観光客誘致、清酒条例の浸透により伝統産業の振興を！

**みちはた弘之** (伏見区)



人口減少社会の中、誰もが心豊かに生き、働き、学び暮らせる社会、子どもが喜ぶ社会を実現するため、「京都創生」に真摯に取り組んでまいります。

皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい

〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
自民党京都市議員団  
jimim3@nifty.com FAX.257-3091